

News Release

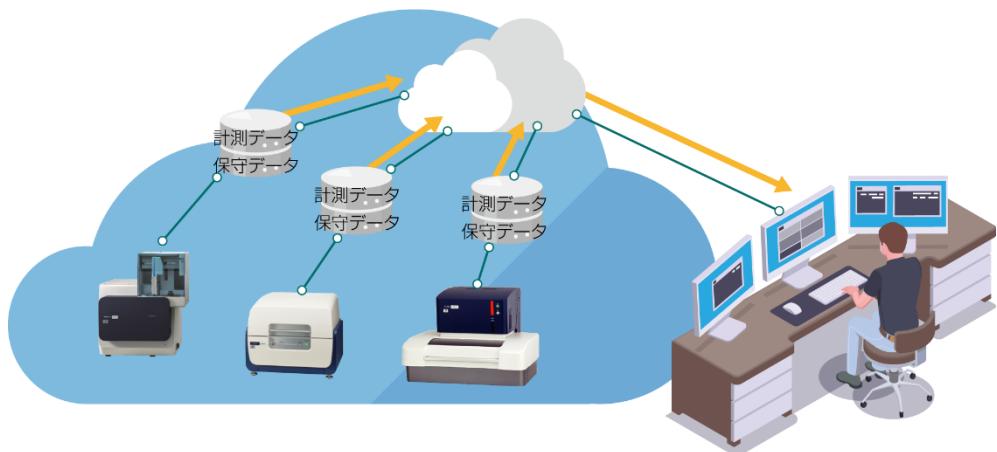
2021年11月2日

株式会社日立ハイテク

RoHS アプリケーションに対応した装置データ収集システムを販売開始

環境規制物質の管理強化に貢献

株式会社日立ハイテクサイエンス（以下、日立ハイテクサイエンス）は、このたび環境規制物質の測定データを一元管理できる RoHS アプリケーション^{*1}を組み合わせた、装置データ収集システム^{*2}（以下、本システム）を国内向けに販売いたします。本システムは、リモート環境下でタイムリーな測定データの結果確認を可能としています。また、欧州で RoHS 指令^{*3}の環境規制が強化される中、RoHS アプリケーションはお客様の効率的なデータ検査・管理を支援します。日立ハイテクグループは、本システムの提供を通して、お客様の環境規制対応を支援し、持続可能な地球環境に貢献してまいります。



【装置データ収集システムのイメージ】

■本システム開発の背景

製品検査の現場では、人の接触を低減させることを目的に業務のリモート化が進み、働き方に変化が起きています。それに伴い、検査装置の管理や、測定結果の確認をリモート下でスムーズに行える環境が求められています。しかし、検査業務の現場では、管理者がテレワーク等で不在になった際、業務管理をタイムリーに行うことができない、あるいは検査装置から得られた結果をすぐに確認できないなど、課題が生じています。

また、RoHS 指令をはじめとした環境規制物質の管理強化が進む中、試料に対して複数の分析装置から得られる測定結果を、より効率的に管理・把握することが求められています。

■本システムの概要

本システムは、さまざまな拠点の装置状態を示す装置ログ情報や測定結果を手元のブラウザで参照できるため、リモート環境下で検査業務の管理を行うことが可能です。また、RoHS アプリケーションは、検査時に複数の異なる検査装置から得られた RoHS 判定結果を測定試料情報に紐づけ、一元管理するための専用 Web アプリケーションです。これらデジタルソリューションを通して、お客様の検査・管理業務の効率化に貢献します。

本システムの主な機能とサービスは、以下の通りです。

1. RoHS アプリケーションで環境規制に対応

製品や部品の含有物質管理に RoHS への対応が強く求められる中、RoHS 分析に特化した専用アプリケーションを開発しました。測定試料の情報に紐づけして、蛍光 X 線分析装置（EA1400／EA1000VX／EA1000A III）による RoHS 分析の検査結果と、加熱脱離質量分析計（HM1000／HM1000A）によるタル酸エステル類の検査結果を、一覧で表示することができます。過去の測定結果を可視化するトレンドグラフの表示にも対応しており、異常値の把握をサポートします。

2. 検査データ・結果の確認でリモートワークを支援

各拠点の使用装置から出力された計測データや装置のログ情報は、お客様専用のクラウド領域にアップロードされ、インターネット接続環境下であれば、分析の進捗・結果を世界中のどこからでも手元のブラウザで確認可能です。随時更新されるデータを確認することで検査の進捗や状況を把握でき、接続されている装置の使用状況表示や、装置使用予定のスケジューリング機能により、検査計画を調整するなどの業務管理も可能にします。また、遠隔環境下でも検査データを解析することが可能で、ロケーションフリーな働き方を支援します。

3. 装置みまもりサービス

装置のエラー情報やログ情報は、クラウド上に定期的に自動アップロードされます。装置故障時のリモート診断により、故障部位の特定から修理作業までをより円滑にし、装置のダウンタイム削減に寄与します。また、装置稼働率の高いお客様には、定期的に日立ハイテクサイエンスのサービス部門が装置状態を確認するオンラインモニタリングサービスを提供します。

日立ハイテクサイエンスは、2021 年 11 月 8 日（月）から 11 月 10 日（水）まで、幕張メッセ国際展示場（千葉県）で開催される「JASIS 2021(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/expo/science/lp2111/>)」において、本システムのパネル展示を行う予定です。

日立ハイテクグループは、幅広い分野における研究・開発、品質管理業務を支え、科学と産業の持続的な発展に貢献します。また、「分析技術」をベースにお客様の先端ニーズをいち早く捉え、個別化・高度化するお客様の課題にフォーカスした装置を開発・提供してまいります。これからも、専用市場に特化したソリューション創出とワールドワイドでの事業拡大をめざし、社会・環境価値の創出に取り組んでまいります。

*1 RoHS アプリケーション：本アプリケーションは、装置データ収集システム上で動作する Web アプリケーションです。ご使用いただくには、装置データ収集システムへのご加入が必要です。

*2 装置データ収集システム：株式会社日立ハイテクの IoT サービスポートル ExTOPE を使用しています。“ExTOPE”は、株式会社日立ハイテクの日本およびその他の国における登録商標です。

*3 RoHS 指令：「Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment」の略。電気、電子機器における特定有害物質の使用制限に関する欧州の法令です。

■本システムについて

https://www.hitachi-hightech.com/hhs/product_detail/?pn=ana-datacollection

■年間販売目標台数 50 ライセンス/年

■日立ハイテクについて

日立ハイテクは、2001 年、株式会社日立製作所 計測器グループ、同半導体製造装置グループと、先端産業分野における専門商社である日製産業株式会社が統合し、誕生しました。

医用分析装置、バイオ関連製品、分析機器の製造・販売を行う「アナリティカル・ソリューション」、半導体製造装置、解析装置の製造・販売を行う「ナノテクノロジー・ソリューション」、社会・産業インフラ、モビリティ等の分野において高付加価値ソリューションを提供する「インダストリアル・ソリューション」の 3 つのセグメントで、グローバルな事業展開を行っています（2021 年 3 月期日立ハイテクグループ連結売上収益は 6,063 億円）。

詳しくは、日立ハイテクのウェブサイト(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテクサイエンス 営業本部 XR 営業部 XR 営業一課 [担当：弥永 (いよなが)]

〒105-6411 東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズ ビジネススター

電話：080-1172-7021

以上

■「装置データ収集システム」に関する仕様／概要

製品名	装置データ収集システム
接続対応装置	<p>【蛍光 X 線分析装置】 EA1400/EA1000A III/EA1000VX/EA6000VX^{*4}</p> <p>【加熱脱離質量分析計】 HM1000/HM1000A</p> <p>【蛍光 X 線膜厚計^{*4}】 FT110A シリーズ/FT160 シリーズ</p>
基本構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス証書 ・取扱説明書 ・セットアップディスク
オプション	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートウェイ PC ・初期設定作業 ・RoHS アプリケーション^{*4} ・X-ray Station オフライン環境構築ツール ・加熱脱離質量分析計オフラインソフトウェア

^{*4} 蛍光 X 線分析装置 EA6000VX および蛍光 X 線膜厚計は RoHS アプリケーションには対応しておりません。

以上